

葉にかけるだけで、根まで枯らす!!

ほとんどの雑草をしっかりと根まで!

農林水産省登録 第22449号

グリホサートイソプロピルアミン塩
..... 41.0%

草枯らしMIC®

野菜類



果樹類



だいず



小麦

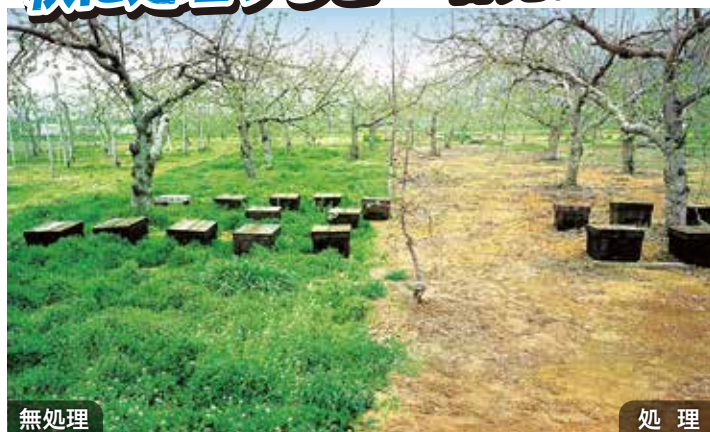


適用作物が多く使いやすい!

安くて、よく効く、登録農薬!



秋に処理すると...春先が楽!!



スギナにもOK!

(25倍処理)



処理後



お得な大型ボトルあります!!

200ℓも!



散布面積と希釈の目安

		草枯らしMIC®の薬量		
散布する面積	水量	100倍	50倍	25倍
10㎡ (3坪)	1ℓ	10ml	20ml	40ml
50㎡ (15坪)	5ℓ	50ml	100ml	200ml
100㎡ (30坪)	10ℓ	100ml	200ml	400ml
10アール (1反)	100ℓ	1ℓ	2ℓ	4ℓ



三井化学アグロ株式会社

■使用基準

■有効成分：グリホサート イソプロピルアミン塩…41.0%

■人畜毒性：普通物※ ※「毒物および劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

2016年11月16日現在

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10アール当りの使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農業の総使用回数
				薬量	希釈水量			
果樹類 (かんきつ、パイナップルを除く)		一年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期：草丈30cm以下)	250～500mℓ		3回以内		3回以内
		多年生雑草		500～1,000mℓ				5回以内
		多年生雑草		500～1,000mℓ				
かんきつ								5回以内
豆類 (鷹豆、たし、だいず、らっせいを除く)	—	一年生雑草	は種7日前まで (雑草生育期)	250～500mℓ	通常散布 50～100ℓ 少量散布 25～ 50ℓ	2回以内		2回以内
は種後出芽前まで (雑草生育期：草丈30cm以下)			4回以内					
畦間処理：雑草生育期 (草丈30cm以下) ただし、収穫前日まで								
だ い ず			は種7日前まで (雑草生育期)					
えだまめ								
小麦	圃場内の周縁部	多年生イネ科雑草	耕起前またはは種前まで (雑草生育期：草丈30cm以下)	250～1000mℓ	25～100ℓ	3回以内		3回以内
		一年生雑草	は種後出芽前(雑草生育期)	250～500mℓ				
		多年生雑草	耕起7日前まで (雑草生育期：草丈30cm以下)	500～1,000mℓ				
				収穫7日前まで (雑草生育期)	250mℓ	25～100ℓ	3回以内	
麦 (小麦を除く)			耕起7日前まで (雑草生育期)		100ℓ			
かんしょ			耕起または播種7日前まで (雑草生育期)					2回以内
野菜類 (えだまめ、キャベツ、はつかだいこん、 たし、だいこん、なす、ピーマン、 なめ、はるいん、アスパラ、ゴーヤ、 きゅうり、しやくやく(葉用)、たらのま、 トマト、なす、ひよこ豆、ほうろく、そう、 ら、入、菜、用、に、ん、じ、ん、を、除、く)								1回
とうがらし類 にんじん ピーマン								2回以内
アスパラガス オリーブ(葉) きゅうり しやくやく(葉用) たらのま すなわ(葉) ほうろく そうら タス	—	一年生雑草	耕起または定植7日前まで (雑草生育期)	250～500mℓ	通常散布 50～100ℓ 少量散布 25～ 50ℓ	1回	雑草茎葉散布	3回以内
薬用にんじん								10回以内 (1年間に2回以内)
キャベツ			耕起またはは種7日前まで (雑草生育期)		100ℓ			1回
だいこん			耕起またはは種7日前まで (雑草生育期)					2回以内
はつかだいこん			耕起またはは種7日前まで (雑草生育期)					1回
ねぎ たまねぎ			定植後畦間処理 ただし、 収穫30日前まで (雑草生育期)		通常散布 50～100ℓ 少量散布 25～ 50ℓ	3回以内		3回以内
水田作物 (水稲を除く)			耕起20～10日前 (雑草生育期)		100ℓ			1回
移植水稲		多年生雑草	湛水前30～5日前 (雑草生育期) (不耕起栽培)	500～1,000mℓ	50ℓ	1回		2回以内
		一年生雑草	耕起20～10日前 (雑草生育期)	250～500mℓ	100ℓ	2回以内		3回以内
多年生雑草	耕起直後～出芽前 (雑草生育期) (乾田耕起栽培)	500mℓ	50ℓ					
直播水稲		多年生雑草		は種30日前～出芽前 (雑草生育期) (乾田不耕起栽培)	250～500mℓ			
		多年生雑草		500mℓ				
水田作物 (水田刈跡)	水田刈跡	一年生雑草	雑草生育期	250～500mℓ	25～100ℓ	1回		1回
		多年生雑草		500～1,000mℓ				
水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生雑草	収穫14日前まで (雑草生育期：草丈30cm以下)	250～500mℓ	通常散布 100ℓ 少量散布 25ℓ	2回以内		3回以内
		多年生雑草		500～1,000mℓ				
水田作物、畑 (休耕地)	休耕地	一年生雑草	雑草生育期 (草丈50cm以下)	250～500mℓ	通常散布 50～100ℓ 少量散布 25～ 50ℓ	1回		6回以内
さとうきび (春植え)		多年生雑草	耕起10日前まで (雑草生育期)	500～1,000mℓ	少量散布 25～50ℓ	4回以内		2回以内
茶	—		摘採7日前まで (雑草生育期)	250～500mℓ	通常散布 50～100ℓ 少量散布 25～ 50ℓ	2回以内		4回以内
樹木類		一年生雑草	雑草生育期	250～500mℓ	50ℓ	2回以内		3回以内
牧草	牧野、草地 (更新・造成)	多年生雑草	更新・造成の10日前まで (雑草生育期)	500～1,000mℓ	250～500mℓ	少量散布 25～50ℓ	3回以内	3回以内
		一年生および 多年生雑草	は種10日前～は種当日 (耕起整地後：雑草発生前期)	250～500mℓ	少量散布 25～50ℓ			
樹木等	公園、庭園、堤とう、 駐車場、道路、運動場、 宅地、のり面、鉄道等	一年生雑草	雑草生育期	500mℓ	通常散布 100ℓ 少量散布 25ℓ	3回以内	植栽地を除く樹 木等の周辺地に 雑草茎葉散布	3回以内
		スギナ	生育盛期	2,000mℓ	少量散布 25～50ℓ			
林木	造林地 (地ごしらえ)	ススキ、ササ類、クズ等の多年生雑草、 落葉雑草かん木	生育盛期以降	1,000mℓ	20～30ℓ		雑草木茎葉散布	

■注意事項

- 本剤はグリホサートを含む農薬ですので、他のグリホサートを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
- 近までと薄った水は効果を低下させるので本剤の調製には用いないでください。
- 展着剤の加用の必要はありません。
- 本剤は土壌中で速やかに不活性化するので、雑草の発生前処理効果はありません。
- 本剤は散布時の雑草の草丈や茎葉面積が大きい程、効果が確実となるので、散布前に雑草の地上部を刈り払わないでください。
- 通常、2～14日で効果が現れ、効果完成までにさらに日数を要するので、遅くても散布しないでください。
- スギナ防除に際しては、スギナの生育期を過ぎた時期での散布及びスギナが他雑草の中に埋没しているような条件では効果が劣る事があるので、適期にスギナにかかるように注意して散布してください。
- 処理後8時間以内の降雨は効果を低下させることがあるので、天候を良く見極めながら散布してください。
- 少量散布の場合は、少量散布用ノズルを用いて、雑草の葉面に均一に散布してください。
- 水田への飛散、流入等により水稲に被害を生じるので、十分注意してください。
- 出芽前に使用する場合は、作物の出芽後に散布すると被害を生じるおそれがあるので、必ず出芽前に散布してください。
- 土壌処理においてはは次のように注意して使用してください。
 - ①クズには休耕田、タネなどを腐す、葉液がくすくすむように注入処理してください。
 - ②落葉雑草かん木には、樹幹の回りに等間隔にナタ目を入れ、薬液を注入処理してください。
 - ③処理後から15m以内に発生したたけのこを食用に供さないでください。また、繭繭いり立てりたけのこが採取されないようにしてください。
- 雑草かん木に薬液処理を行う場合は、伐採後、直ちに切り口全面に直接散布してください。
- 特に生育期畦間散布に使用する場合には作物にからさないよう十分注意して散布してください。
- 農作物や有用作物に薬液が付着すると、激しい被害が生じるので、かからないように十分注意してください。
- 本剤の調製および保管に際しては合成樹脂の内層のない鋼鉄製(ステンレスは除く)の容器類は使用しないでください。なお散布液を調製した容器および散布器具は、使用后十分に水洗してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量・使用時期・使用方法に注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 土壌が流亡したり、くすたりするおそれのある所では使用しないでください。
- 公園、堤とう等を使用する場合、特に以下のことに注意してください。
 - ①水源池、養魚池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意してください。
 - ②散水時、堤、池の洗浄水は河川等に流さず、空容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
 - ③適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に被害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除等関係機関の指導を受けてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手洗、顔などを石鹸でよく洗い、うがいをするともに洗顔してください。
- 公園、堤とう等を使用する場合は、使用中及び使用后(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう周囲いり立てりたけのこを配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使後の薬剤は必ず安全な場所に保管してください。
- 水産動植物(魚)に影響を及ぼすので、養魚池等周辺での使用は避けてください。
- 養魚池周辺での使用には、特に注意してください。
- 散布後は河川、養魚池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- 直射日光を避け、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

■上手な使い方

散布適期は、雑草の生育盛期

一年生雑草 発生がほぼ完了し、草丈が15～30cm位になった頃に散布すると安定した効果がえられます。

多年生雑草 根まで枯らすためには、**生育盛期**※～開花期前までに散布するのが効果的です。

※根元の貯蔵養分の残存量が少ない時期

雑草の種類やステージによって使用量を決める

一年生雑草が優占する場合 250～500mℓを50～100ℓの水に希釈して散布※

多年生雑草が優占する場合 500～1,000mℓを50～100ℓの水に希釈して散布※

※10アールあたりの使用量

噴霧器で茎葉全体がムラなく、しっとり濡れる程度に散布

■少量散布(25～50ℓ/10アール)には、「少量散布用ノズル」を使用してください。
■また、ジョロによる散布もできます。

■雑草発生前の散布は、効果がありません!
■天気の良い日に散布してください!
■きれいな水を使いましょう!
■ムラなく散布してください!
■散布前と散布後7～10日間は、雑草を刈り払わないでください!

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

○容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。 ○防除日誌を記帳しましょう。

※本製品は農業用除草剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。

※本印刷物は2016年11月16日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

取扱い



三井化学アグロ株式会社

東京都中央区日本橋1-19-1 日本橋ダイヤビルディング
ホームページ <http://www.mitsui-agro.com/>